

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

平成26年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

平成26年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ教育に関し学識経験を有する方から総合的な評価を受けた。

○ご意見をいただいた学識経験者 (順不同, 敬称略)

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
廣 瀬 征 夫	元常総市立石下小学校長

総合評価

1 「学校教育を充実し、次世代を育てる」ことについて

- 安全安心な教育環境を目指して行われた耐震化の推進，東日本大震災の被災校復旧並びに絹西小学校の敷地拡張，空調整備等，計画的に教育環境の充実が図られており，評価できる。
今後も危険箇所，老朽箇所の点検・修繕をはじめとした学校施設の整備を継続的，計画的に進められたい。
- 学校改善プラン，学力診断テストの有効活用，計画訪問以外の学校訪問等を積極的に行い，教員の指導力の向上，充実を図られたい。
- 時代の要求であるICT活用リテラシーの向上に積極的に取り組まれたい。
- 幼稚園の統合再編に関しては，「幼稚園あり方検討会」を積極的に活用し，保護者の意見の尊重を願う。
- 常総ほっとサタデー教室の関心度が高くなってきている。教科のつまずきが生活の乱れにつながる傾向がある。学習支援の重要性を感じる。継続，拡充を望む。
- 多くの学校では，事務職員は少人数である。ややもすると孤独になることの心配がある。学校運営の事務的な支援だけでなくメンタルな支援対策も検討が必要である。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」ことについて

- 高齢化に伴い人それぞれ多様なライフスタイルがある。人は生涯にわたって学ぶ楽しさの機会を求めている。学ぶ環境を整えることは行政の責務の一つであり，さらなる充実を願う。
- 市民の自主的な文化・芸術活動を物心両面から積極的な支援を望む。文化的なイベントのさらなる充実を期待したい。長塚節文学賞の注目度は全国レベルに高まっており，益々の発展を期待する。
- 関心度の高い「少年の主張大会」は，青少年の幅広い視野，論理的な思考力，創造力等を養うのに絶好の機会であり，継続と充実を望む。
- 近隣の間人関係が希薄化している現代，スポーツを通して市民のふれあい，交流活動の重要性がますます増大してきている。魅力あるスポーツイベントの開催，人間的に魅力ある指導者の発掘に努められたい。